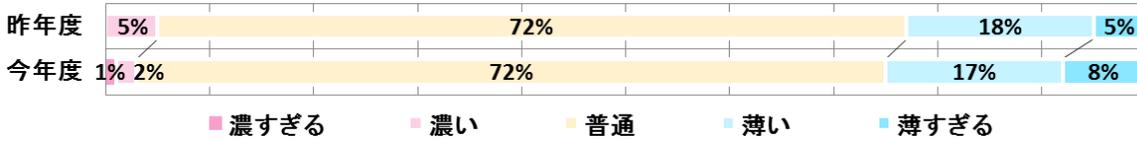


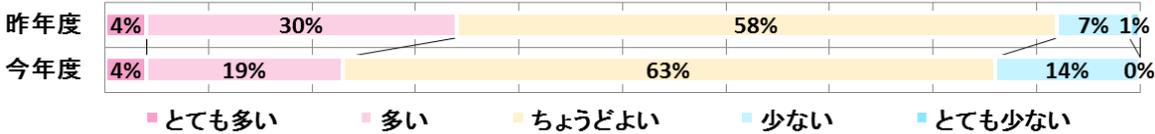
三田市民病院食事アンケート集計結果

1. 食事の味について



昨年度と『普通』の回答の割合は変わらない。
『濃すぎる・濃い』と感じている方は昨年より減っているが、『薄すぎる・薄い』と感じている方が増えている。

2. 食事の量について



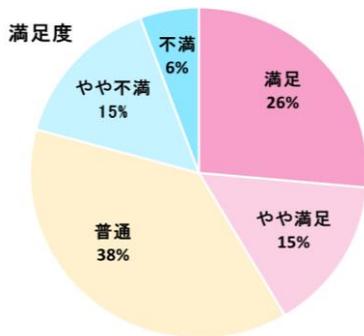
『ちょうどよい』の回答が最も多く63%であった。『とても多い・多い』の回答が合わせて23%となっている。
『少ない』という回答は14%であるが、『とても少ない』の回答は0%だった。

3. 盛り付けについて



昨年度に比べ『悪い』の割合が若干増えているが、『良い』の割合も増えている。
『普通』以上の評価が90%以上であり特に問題はないと思われる。

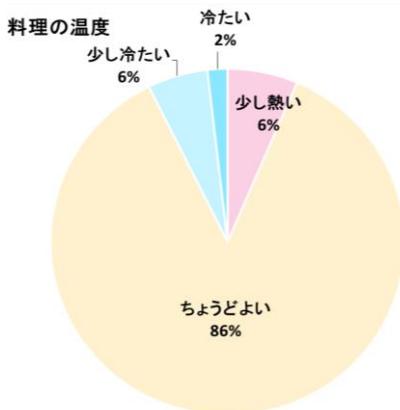
4. 食事に対する満足度



満足度は『満足・やや満足』が41%、『普通』が38%、『やや不満・不満』は21%であった。『満足・やや満足』の選択理由としては「美味しい。見た目がよい。病状にあった味付けと量だった。体に良さそうな食事である。」という意見があった。

『普通』の選択理由としては「患者それぞれに対して考えて作られているので満足している。薄味の物だけでなく濃い味の物もあるのがよかった。」という意見がみられた。

『やや不満・不満』の選択理由としては「量が少ない。美味しくない。味が薄い。主食量が多い。朝食のおかずが少ない。野菜で工夫がされているが色が悪く歯ごたえがない。」という意見があった。



『ちょうどよい』が86%と最も多く、概ね適温で提供できている。
『熱い』の回答率は0%で、『少し熱い、少し冷たい、冷たい』の回答が合わせて14%となっている。

調査について(対象者:救急重症病棟、新型コロナ対応病棟を除く病棟での喫食者)
昨年度:令和3年6月25日昼食時 配布151名、有効回答数 79名、回答率52.0%
今年度:令和4年6月29日昼食時 配布173名、有効回答数123名、回答率71.1%